

価値創造プロセス

当金庫は、パーパスの実現に向けた価値創造プロセスを以下のとおり定めています。100年の歴史のなかから培ってきた経営資本(強み)を活かした事業活動に取り組み、その結果として生み出すアウトプットを通じたステークホルダーへの価値提供が、私たちの経営資本を更に強固なものにする——このサイクル(循環)がパーパスの実現に繋がっていくと考えています。

1 農林中央金庫の100年の歩み

—系統組織とともに、農林水産業の発展を支えてきた歴史

▶ P.24

6 パーパス実現のための重要課題 (マテリアリティ)

▶ P.31

インプット

2 歩みから培ってきた経営資本(私たちの強み) ▶ P.25

自然資本	社会・関係資本	設備資本
財務資本	知的資本	人的資本

私たちの強みを活かした
事業活動の展開

ステークホルダーへの価値提供は
経営資本を更に強固に

価値創造の循環を通じて パーパスの実現へ

事業活動から生み出す成果は
ステークホルダーへの価値提供に

事業活動

3 私たちの事業領域 ▶ P.26~27

サステナビリティへの
取り組みビジネス横断

食農ビジネス
リテールビジネス
投資ビジネス
コーポレート

土台となる「共有価値観」

グローバル プロフェッショナル ナリティ チームワーク チャレンジ 成長

4 中期ビジョン(事業戦略) ▶ P.28~29

地球環境・社会・経済へのインパクト創出
農林水産業・地域の持続的な発展
デジタルとリアルとの最適融合による
組合員・利用者への価値創造
会員への安定的な収益・機能還元の実現
変化に挑戦し続ける柔軟で強靱な組織の実現

パーパス(私たちの存在意義)
持てるすべてを「いのち」に向けて。

ステークホルダーのみなさまとともに、
農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、
持続可能な地球環境に貢献していきます

脱炭素
社会の
実現

自然と
共生する
社会の実現

農林水産業の
“稼ぐ力”の
強化

強靱な食料
システムの
実現

国内外での
“豊かな”
くらしの実現

アウトカム
(社会へ提供する価値)

アウトプット

5 ステークホルダーへの価値提供 ▶ P.30

主なアウトプット
(事業活動の成果)

会員(系統組織等)	農林水産業者
地域社会	取引先
投資家	ビジネスパートナー
行政	グループ職員